

～KOMOネット通信～

8月中旬 未曾有の大雨が続き西山古道被害

～善峯川で土砂崩れ発生善峯橋流出・道が陥没～

8月中旬に京都西南部に降り続いた大雨は、長岡京の定点観測で、12日—15日で356.5mm、17日—20日で129mmと猛烈な雨が降りました。当時の天気図では長岡京市以上に西京区の方が激しく降ったように思いましたが、西京区は定点観測所がありません。16日の作業日に、西山古道定期点検に善峯道に入ろうとしたら善峯橋が土砂で埋まっておりません。(右の画像上部2枚)流れも土砂崩れて大きく山側に蛇行して法面を削り取っていました。(杉の切り株の向こう側が流れていたのです)とても西山古道を点検することもできず、23日に再度点検を実施、ガレバも何とか通れ、釈迦岳への分かれ道を通って谷筋の手前で、西山古道は大きく陥没して通行不能の状態になっており、30日の作業日には11名の会員が西山古道の復旧作業にあたりました。

*上の2枚は8月16日の状況…善峯橋の上流側に杉を伐採した際に、伐採した杉の根元部分を、橋を強化するために置いておかれたもの。そのすぐく重い丸太が川を流れてきた土砂に押し流されて善峯橋を乗り越えています。真ん中の2枚は30日の状況です。善峯橋と丸太は撤去されていますが、土砂はそのままです。下の写真は2016年10月24日に架橋した3代目の善峯橋でした。5年弱で流されてしまいました。(思い出の写真です)

30日の作業は善峯川を渡り、陥没して通行不能の場所の復旧作業でした。間伐材等の投入で、何とか通れるようになりましたが、次週以降に完全復旧の整備を行う予定です。私たちが西山古道を復活させて14年経過しましたが、これほどの損害が発生したのは初めてのケースです。山岳ハイキングコースの損害は、2018年9月4日に襲来した台風21号による、関西地域の山岳ハイキング道が倒木で大きな損害が出たとき以来の大きな損害となりました。



～柳谷観音に素敵なお椅子納入～

柳谷観音から結婚式の撮りのハート型ベンチの注文があり、田中会員に制作を依頼していましたが、このほど素晴らしいベンチを完成されました。結婚にふさわしい様にベンチ全体を柔らかな雰囲気でも包み、釘は1本も使わずに完成させました。8月30日に納入し、柳谷観音も大変気に入って早速SNSで発信するそうです。



●京都駅観光案内所はコロナの緊急事態発令中は閉鎖されています

～NPO交流会にオンラインで参加～

ハウジング&コミュニティ財団から令和2年度助成金を受け事業を推進してきました。

本来この時期にまちづくりのNPO交流の集いとして、東京で集合しての「成果発表会」が実施されるのですが、今年はコロナの影響で地方からはオンラインの参加となり、28日(土)開催され中山理事長が参加しました。持ち時間は1団体8分間で25団体が参加、テーマを

①コミュニティにより地域の持続性と活力を育む
 取り組み②歴史的建造物や地域資源の保存活用による地域づくり③共助により地域の絆と福祉・地域の安全などを高める取り組みにわかれ
 当会は②のテーマの中で発表しました。発表がスライド5コマにわけ、1・西山古道の整備2・陽光桜の植樹3・紫陽花の植樹とハート形ベンチ制作、SNSで人気爆発 4. 陽光桜苑の開発について

発表しました。感想から申し述べると当会の取り組みはどの団体よりも広範囲で地域活性化へのテーマにおかた取り組んでいるように感じ、審査員からも与えられた建物とか場所を活性化しているのとは違っているので感心あるとのコメントがありました。今回の参加団体は、令和2年度助成11団体、令和3年度助成14団体、合計25団体でした。

今回はZoomのウェビナー機能という新しい操作方法での交流会でした。



当日使用したスライド資料

9月前半の行事予定

- 9月6日(月) 柳谷作業所作業日
- 7日(火) 緑化機構申請に関し審査委員
現地調査に柳谷作業所へ
(事務局メンバーにて対応)
- 8日(水) 柳谷観音・庭掃除(有償)
- 9日(木) 事務局会議於作業所
- 10日(金) 柳谷観音・庭掃除(有償)
- 13日(月) 柳谷作業所作業日
- 14日(火) スモークチーズ製造